

令和3年度  
貸借対照表

令和4年3月31日 現在

(単位 円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	( 284,674,582 )	( 297,982,758 )	( △13,308,176 )	固定負債	( 72,997,812 )	( 82,265,812 )	( △9,268,000 )
有形固定資産	( 284,674,582 )	( 297,982,758 )	( △13,308,176 )	長期借入金	60,300,000	69,568,000	△9,268,000
土地	100,198,250	100,198,250	0	学校債			0
建物	160,465,884	176,030,522	△15,564,638	長期未払金			0
構築物	1,336,266	9,327	1,326,939	退職給与引当金	12,697,812	12,697,812	0
機器備品	20,804,901	19,251,624	1,553,277				
車両	1,869,281	2,493,035	△623,754				
			0				
特定資産	( 0 )	( 0 )	( 0 )	流動負債	( 16,345,958 )	( 15,133,005 )	( 1,212,953 )
			0	短期借入金	9,268,000	9,348,000	△80,000
			0	未払金	1,479,580		1,479,580
その他固定資産	( 0 )	( 0 )	( 0 )	前受金	5,580,000	5,760,000	△180,000
電話加入権			0	預り金	18,378	25,005	△6,627
有価証券			0				
預託金			0	負債の部合計	89,343,770	97,398,817	△8,055,047
流動資産	( 145,888,279 )	( 127,046,678 )	( 18,841,601 )	純資産の部			
現金預金	125,989,941	108,121,932	17,868,009	科目	本年度末	前年度末	増減
未収入金	18,723,838	18,924,746	△200,908	基本金	( 531,090,862 )	( 515,064,381 )	( 16,026,481 )
仮払金			0	第1号基本金	531,090,862	515,064,381	16,026,481
短期貸付金			0	第2号基本金	0	0	0
有価証券			0	第3号基本金	0	0	0
立替金	188,000		188,000	第4号基本金	0	0	0
前払金	986,500		986,500	繰越収支差額	( △189,871,771 )	( △187,433,762 )	( △2,438,009 )
			0	翌年度繰越収支差額	△189,871,771	△187,433,762	△2,438,009
			0	純資産の部合計	341,219,091	327,630,619	13,588,472
資産の部合計	430,562,861	425,029,436	5,533,425	負債及び純資産の部合計	430,562,861	425,029,436	5,533,425

(注)

## 1. 重要な会計方針

## (1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金…未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金…退職金の支給に備えるため、期末要支給額 33,942,864円から神奈川県私立幼稚園退職基金財団よりの交付金相当額21,245,052円を控除した金額の100%を計上している。

## (2) その他の重要な会計方針

所有権移転外ファイナンスリース取引の処理方法…リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の

ファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法…預り金・仮受金に係る収入と支出は相殺表示している。

2. 減価償却額の累計額の合計額 315,656,750 円

3. 徴収不能引当金の合計額 0 円

## 4. 担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土地	100,198,250 円
建物	160,465,884 円
定期預金	0 円

5. 翌年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うことになる金額 69,240,470 円

6. 学校法人会計基準第39条の規定により、第4号基本金の組み入れはない。